

まちづくり、
くらしの情報
を届けます

相馬
ゆうこの

南千住レポート



区議会控え室 荒川区荒川2-2-3区役所内5階 ☎:3802-4627
FAX: 3806-9246 / ✉:arajcp@tcn-catv.ne.jp
相馬ゆうこ事務所 荒川区南千住5-1-6・2階
☎・FAX:3807-4192



・HP→
・Twitter @m1010_yuko
・araken-nan.jugem.jp



教育無償化へ 荒川でも学用品の公費助成を

学校給食無償化が来年度から23区すべてで開始に。さらに物価高の中で、子育て支援としても保護者負担を軽減し、義務教育無償化に近づけようと、品川、中野で学用品の公費助成がはじまっています。



保護者負担 都教育委員会の調査では「公立学校の保護者が負担する学校教育費」は、2021年度小学校で年間55,043円・中学校で71,559円に。最も負担の大きい給食費は無償化されましたが、補助教材は保護者負担です。それ以外にも標準服やノート、鉛筆などの負担もあり、実際の出費はもっと多くなります。

【保護者が負担する学校教育費（年間）】

	小学校		中学校	
	2021年度	(前年比)	2021年度	(前年比)
給食	40,806	(+7,014)	39,829	(+6,810)
教科活動(教材等)	8,640	(+680)	12,387	(+452)
遠足・移動教室	2,926	(+2,228)	13,107	(+10,609)
行事・式典	2,572	(+156)	3,785	(+341)
生活・進路指導	75	(+5)	2,009	(+186)
その他(部活等)	24	(+4)	442	(+30)
合計	55,043	(+10,087)	71,559	(+18,427)

中野…一部助成 品川…全額助成

中野区は昨年9月から、「保護者の負担軽減」として補助教材費などの一部補助を開始。対象の児童生徒は14,700人で、1人当たり小5,000円・中9,000円を学校を通して保護者の口座へ振込みます。予算は約8800万円です。



品川区は、ことし4月から区立学校の授業で使うドリル、絵の具、彫刻刀、アサガオ栽培キットなどの補助教材を無償化。これまで学校が一括購入し各世帯から費用を徴収していましたが、区が実費を各校に交付します。対象は24,000人で1人当たり年間11,000円～39,000円と想定、予算は5億5000万円。区長は「憲法で義務教育は無償とする原則が明記されている。社会全体で子育てを支えたい」と表明。



荒川区も 実施の決断を

共産党区議団は「荒川区でも教材の全額助成を」と、2月会議で条例を提案。区立小中学校の児童生徒は12,525人で、予算は約2.3億円の見込み。新年度から東京都が給食費無償化の費用1/2を負担することとなり、区の負担が当初予定の半額・約4億円ですむため、その予算の枠内で十分実施可能です。

本会議では残念ながら反対多数で否決されましたが、実現まで引き続き提案します。みんなの力で区を動かしたい。



今度は7丁目で～続くマンション建設



「南千住7丁目、国道4号沿いで建物解体中…結構広いけど何になる？」と



お尋ねが。簡易宿泊所などがあった場所ですが、周辺と一体的に開発し、どうやらマンションになるよう。

現在の予定では15階建て・98戸で総床面積6,500㎡、施工は「新日本建設」。開発～建設まで一体に行うデベロッパーで、区



解体がすすみ空き地に

内では同じく南千住7丁目に「エクセレントシティ南千住ブルーム」などを建設。着工は今年6月～2026年8月完成

予定。7丁目も工場跡や戸建ての取り壊してマンションがどんどん増加。保育園や学校の環境整備も必要、飲食店など身近にお店がふえるような検討もしてほしい。

桜の季節が近づいてきました

「だんだん桜が咲き始め

ましたね」と写真を送って

頂きました。汐入公園のウォーキングロード沿いではオオカンザクラが満開に。東京はソメイヨシノの開花は24日頃の予想です。

楽しい催しも目白押し。



桜堤通りでは花見の輪が

○西日暮里・養福寺の夜桜太鼓コンサート

4月7日(日)17～20時／観覧無料

境内のライトアップされた夜桜と、僧侶で構成された和太鼓グループ「千響」の演奏を楽しめます



○尾久原公園シダレザクラ祭り

3月30日(土)10～15時

5年ぶりにステージショーや模擬店などを復活させ、通常の規模に戻して開催します



〈法律・生活相談〉

4月の定例法律相談日は 11日(木)です

ご要望やご相談などは随時ご連絡ください。事務所での定例法律相談は、毎月第2木曜18時から。平日の午後15時に法律事務所(北千住)でも可能です。お名前、電話番号等を下記の留守番電話に録音して下さい。

相馬 ゆうこ事務所 南千住5-1-6-2階 ☎3807-4192

予算案・保険料値上げなど他会派の賛成で可決に

区議会2月会議が3月14日(木)に終了。議案23件のうち10件は全会一致で可決、新年度予算案や介護保険料、国保料の値上げなど11件は、共産党区議団が反対したものの賛成多数で可決。区議団が提案した2件は残念ながら否決に。主な議案の各会派の態度は表のとおりです。

不安定・長時間労働で医療・介護・保育・教育が大変

物価高騰が続く中、区民の給与も年金も実質目減りがつづき、保険料は連続して値上げに。一方、区の新年度予算は「歳入」で住民税の税込増や「固定資産税と大企業の法人税が堅調」で財政調整交付金は21億円増（前年比+4.8%）などを見込み、「歳出」では庁舎建設



代わりに2030年度まで毎年12.5億円の積立て、西日暮里・三河島駅前再開発の予算なども増大、予算規模は過去最大の1219億円（同+7.5%）に。



いま、不安定労働が増加し、建設・運輸・医療・介護・学校・保育など長時間労働と人手不足によって区民サービスに影響が出ています。共産党区議団はさくらバス減便や庁舎建設はじめ、区民参加で区民の声をもっと聞くことを求め、震災対策とくらし支援、ジェンダー平等の取り組みなども不十分として予算の組換えを提案、原案には反対しました。

他会派は…「物価高騰対策など幅広い項目にわたって予算化されており、区民ニーズにきめ細かに対応した予算（自民）」「区長5期20年の集大成。限りある財源を重点的・効果的に配分している（公明）」「区民に寄り添い、荒川区に住んでいてよかったと実感できる予算（ゆいの会）」と評価。



共産党区議団— 家賃助成や中小事業者への光熱費支援、スクールカウンセラーの予算組み替えを提案 増員、さくらバスの運行補助など20項目・計21億円を増額補正する予算組替えを提案をしましたが、残念ながら否決に。これからも切実な提案をします。討論など動画でもぜひご覧ください。

動画はこちら→ (1:16:50あたりから)



各会派の賛否は？



	区長提案				共産党提案	
	2024年度一般会計予算	庁舎建設のための基金新設	介護保険料の値上げ	国民健康保険料の値上げ	学用品の公費負担	補聴器助成の上限額引き上げ
自民党(10※)	○	○	○	○	×	×
公明党(6)	○	○	○	○	×	×
共産党(5)	×	×	×	×	○	○
ゆいの会(6)						
都民ファースト(2)	○	○	○	○	×	×
国民民主(1)	○	○	○	○	×	×
あたらしい党(1)	○	○	○	○	×	×
無所属(2)	○	○	○	○	×	×
立憲民主党(2)	○	○	○	○	○	×
維新・子育て(1)	○	○	○	○	×	×
日本保守党(1)	×	○	○	○	×	×
結果	可	可	可	可	否	否

※自民党は11名だが議長は採決に不参加

どうする…国保料平均13,000円値上げ!!

荒川区の国民健康保険料（国保料）が改定、4月から大幅な値上げに。

今回の改定では全階層が値上げとなり、保険料は今年度と比べ1.1~1.2倍に。「医療分」+「後期支援分」で所得割は1.9ポイント・均等割が5,500円それぞれ値上げとなり、1人当たり平均は年間13,157円の大幅増です。さらに、40~64歳が払う「介護分」も691円の増に。

【医療分+支援分】	現在	改定後
所得割	9.59/100	11.49/100 (+1.9pt)
均等割	60,100円	65,600円 (+5,500円)
1人当たり平均保険料	143,363円	156,520円 (+13,157円)

【介護分(40~64歳のみ)】	現在	改定後
1人当たり平均保険料	38,808円	39,499円 (+691円)

7割が自営業やバイト、3割が前期高齢者 アルバイトの社保加入や後期高齢者が



増加し、国保加入者は年々減少、区内では人口の約2割です。そのうち7割がアルバイト・パートやフリーランス、自営業などの方とそのお子さん、3割が年金でくらす前期高齢者（65歳~74歳）

です。収入が低く不安定だったり高齢で医療の必要性が高い方が多いのに、国庫負担が削減され、総医療費が増加すると個々の保険料がふえる仕組みで「国保料が年収の1割以上」という方も。



高すぎる保険料対策、改善を 委員会では「高すぎる保険料の対策が必要」などの意見が出されたものの、本会議では値上げ賛成が多数に。もう値上げは限界です。国民の医療、健康を支える「国民皆保険」制度を守り、すべての人が安心して医療にかかれるよう、国・都・区が責任を持って制度を改善・維持していくことが求められています。

後期高齢は再来年度に値上げ

都が2年ごとに見直しを行う後期高齢者医療の保険料は、来年度一部で値下げとなるものの、2025年度には全員が値上げに。一度下げてから引き上げることで負担感が大きくなり、区民への影響が心配。



【後期高齢者医療の保険料】

本人の年金収入		2023年度	2024年度	2025年度	(23年度比)
単身	80万円	13,900	14,100		(+200)
	168万円	21,000	20,700	21,400	(+400)
	173万円	37,400	36,800	38,100	(+700)
	211万円	92,100	88,700	93,900	(+1,800)
	221万円	101,600	103,500		(+1,900)
2人	153万円	27,800	28,200		(+400)
	272万円	187,100	190,700		(+3,600)

※2人世帯は配偶者の年金収入が80万円の場合

ご意見・ご質問頂きました ○「低所得者の給付金のお知らせ、羨ましいなど…。夫婦自営の時、帳簿上私は扶養ギリギリの給与で、高校生の娘の控除もあり非課税。収入は減ってもいまはギリギリ課税。主人はガンを発症し、もう4年闘病。障害年金の対象にもならず、通院費で蓄えもつきて。私がダブルワークをして、泣きたいような状況でも住民税課税で給付金は無し、2人で働いていた時は非課税ながら暮らして給付金も貰えたのになぁと。本当に苦しいです」何かできることがあればと思います。裏金・脱税の政治家が開き直る今の社会はどこかで道を踏み外してる!!

